

平成24年度事業計画

国内の経済は円高が続くなか、各種産業面での閉塞感に加え昨年の東日本大震災の影響等でなかなか回復基調が見られない情勢であります。また長期にわたる人口の減少と少子高齢化にあつて雇用も厳しい状況となっています。

一方国及び市での財政改革による補助事業の見直し等で補助金の削減も著しく、本年度も引き続き厳しい事業運営を強いられることとなります。

特に、本年度は公益法人制度改革により現行の「特例社団法人」から「公益社団法人」としての認定を受けたことで従前のシルバー事業とともに「高齢者福祉の増進」「勤労意欲のある者に対する就労支援」「地域社会の発展」等、公益事業団体としての資質や社会貢献が一層問われることとなります。

こうした社会的な変革期にありまして、当センターにおいても一新、飛躍する時期と捉え「中長期計画」を基とし、会員の就業機会確保や各職群班の事業諸策を改善整備することで、効率的かつ自立した運営ができるよう努めたいと考えています。

高齢化社会では、高齢者の一人暮らしの増加等で、多様な生活支援事業の要求も増大しつつあります。シルバー人材センターのモットーである「すすめよう（地域密着型就業）・さしのべよう（社会の担い手）・まもろう（水と環境）・つたえよう（地域文化）」を1,100余名の会員方々とともに進め、生甲斐のあるシルバー事業にいたしたいと考えています。

今年度においては、新たなる公益社団法人として、堅実な基盤と魅力あるシルバー事業活動ができるよう安全・適正就業の徹底とシルバー理念「自主・自立、協働・共助」の確立に向けて、役職員はもとより全会員の理解・協力を得ながら下記方針により事業計画を推進いたします。

1、基本方針

- ① 組織運営体制の充実と会員連携の強化
- ② 会員の加入促進と普及啓発活動
- ③ 安全・適正就業の推進
- ④ 技能支援と各種講習の推進
- ⑤ 福祉家事援助サービス事業の推進
- ⑥ 奉仕活動（ボランティア）の推進
- ⑦ 健康福祉活動と生甲斐事業の推進
- ⑧ 独自事業の推進

⑨ 特定公益増進法人制度の推進

2、主な事業実施計画

基本方針に基づき下記事業を実施します。

1) 組織運営体制の充実と会員連携の強化

会員自らが主体となり各地区、各事業面での積極的な就業開拓が図られるようリーダー養成と会員連携の推進に努めます。

- ① 専門部会の充実と各委員会活動の活動強化
- ② 各班組織（地域班、職群班）充実と班機能の確立
- ③ 地域ブロック会議の充実（地域就業活動の促進と会員間の連携強化）
- ④ 公益社団法人への移行に伴う各種規程、要綱等の整備改正

2) 会員の加入促進と普及啓発活動

会員の増員とともに就業機会の拡大が必要となってきた。地域の諸団体等の理解と協力を得るため、毎月の入会説明会の開催はもとより各地域での就業相談会や地域事業への参画を深めることでシルバー事業の普及啓発に努めます。

- ① 広報用パンフレット、リーフレットの配布
- ② ホームページの作成と活用、普及啓発ポスターの掲示
- ③ 会報「シルバー伊賀」及び市広報紙、関係団体、日刊紙等関連メディアの積極的活用
- ④ 新入会員説明会の定期的開催、就業相談会周知、地域行事等への参画
- ⑤ 三シ連及び全シ協との連携協調と情報収集
- ⑥ 「三重県シルバーの日」の啓発活動

3) 安全・適正就業の推進

会員の就業に伴う事故を未然に防止し安全就業とするため、安全就業基準の徹底を図ると共に、会員に適正な就業機会確保に向けた適正就業基準を遵守します。

- ① 安全委員会の開催
- ② 安全就業のための実施計画の策定、各作業別安全就業基準確認
- ③ 健康と安全対策への簡易診断シート（チェックシート）活用促進
- ④ 事故状況の把握と事故防止対策の整備
- ⑤ 安全講習会への参加（車両、機械器具講習や職群別講習等の開催）
- ⑥ 安全就業関係情報の提供
- ⑦ 適正就業の徹底と自主点検
- ⑧ 就業機会の確保と未就業会員の就業促進
- ⑨ 派遣就業の啓発と推進

⑩ 受注（見積り）業務の適正且つ効率化に向けた就業体制の充実

⑪ 地域密接型就業の推進と開拓

4) 技能支援と各種講習の推進

高齢者や会員の就業に必要な技能習得のための講習会、研修会の開催と積極的参加に努めます。

① 就業にかかる各種教室・講習会の実施

② 職域別班長会議、講習会、懇談会の実施

③ 一般高齢者や未就業会員等による就業等を前提としたシニアワークプログラム事業の実施（フォークリフト講習、農業支援講習）

④ 子育て支援講習会の実施（育児サポーター、指導者養成講習含む）

5) 福祉家事援助サービス事業の推進

高齢化社会の進展で高齢者世帯が増加傾向の下、福祉家事援助等の生活支援活動や社会参加型活動事業として地域高齢者サポート事業、福祉リサイクル事業を推進します。

① 高齢者生活援助サービス事業等として地域高齢者等のサポート事業への登録推進と地域サポーターの確立

② 各種施設訪問・各地区行事等への参加、地域別いきいきシルバーサロン等の実施

③ 福祉・家事援助・子育て支援等にかかる三シ連主催の推進大会への参加

④ 放課後児童保育事業にかかる指導会員の養成

⑤ 行政や各種福祉関係団体との事業連携の促進

6) 奉仕活動（ボランティア）の推進

シルバー事業の奉仕活動推進とともに地域活動との連携を深めます。

① 各地域での奉仕活動の計画的実施

② 清掃活動等地域との事業協力

③ 地区行事、公共団体等への事業参画

7) 健康福祉活動と生甲斐事業の推進

会員の自己管理を徹底するとともに、健康管理にかかる身近な講習会や健康講座を実施し会員の福利厚生に努めます。

① 健康診断の積極的受診

② 会員の厚生福利にむけた活動の充実と助成

③ 会員の慶弔等給付事業の実施

④ 趣味、同好会活動による生甲斐事業の推進

8) 独自事業の推進

高齢化社会が一層進展する中、シルバー会員が受託事業だけでなく自らの事業化に向けた体制整備に努めます。

- ① シルバーワークプラザおよび各支部事務所の効率的運用
- ② 会員独自の事業推進と事業計画の策定（憩のやかた事業等の推進）、
- ③ 事業化に向けた有志会員の発掘と事業支援

9) 特定公益増進法人制度の推進

シルバー人材センターは、特定公益増進法人の意義と寄付のメリット（税制優遇措置等）等、広く啓発しセンター事業への有効活用に努めます。

従前のシルバー事業協力関係機関への協力要請を深めるとともに、新規制度利用事業者の拡大に努めます。